

F 一次産業と伝統産業の観点から **フードツーリズム** の強化を図る。

- 1 スローフードをテーマに「醤油」「そうめん」「オリーブ」「佃煮」等島の食品産業、さらに農林水産業との連携を図る。
- 2 ガストロノミーツーリズムの推進にあたり、料理人の知識・技術向上を目的とした研修などを実施する。
- 3 小豆島のフードツーリズムを象徴するイベント（グルメフェス）を実施する。
- 4 飲食店、宿泊施設等に対しベジタリアン・ビーガン向けメニュー開発を促進する。



G 島の地形・景観の観点から **スポーツツーリズム** の強化を図る。

- 1 島の地形・景観を活かしたマラソン大会や自転車競技の大会、トライアスロン等を誘致する。
- 2 マリンアクティビティの指導員を育成して体験型プログラムとして商品化を図る。
- 3 ロッククライミングの指導員を育成して体験型プログラムとして商品化を図る。



H 小豆島ならではの **体験コンテンツ** の強化を図る。

- 1 日本遺産「石の島」に関わるコンテンツを造成する。
- 2 「歌舞伎、太鼓、お遍路」といった和文化を体験できるコンテンツを造成する。
- 3 島の歴史や文化を深掘りし、アートとともに文化観光を推進する。



I 二次交通対策の観点から **次世代モビリティ** の導入を図る。

- 1 次世代モビリティ特区（自動運転等）の導入を目指す。
- 2 エコを意識した自然環境に優しいグリーンモビリティを港、宿泊施設、主要な観光施設で有料レンタルする。



J 島の遊休施設 活用の観点から民間投資の促進を図る。

- 1 誘客の目的（フードツーリズムの顔的存在）となるような島の食品産業と農林水産業と連携した食の拠点づくりを推進する。
- 2 若者や長期滞在者向けに空き家等を活用した民泊やゲストハウス（簡易宿所）建設促進を図る。



船旅・島旅・小豆島

訪れるたび、深まる島



Tourism Action Plan



観光事業の推進により
持続可能な島づくりの中心的役割を務める



観光により消費される島ではなく、
観光により**持続できる島**を目指す



土庄町 岡野能之町長より



両町が一つになって策定した本ビジョンにより、小豆島・豊島が「選ばれる観光地」となり、住民、来訪者そして地域全体が将来にわたって幸福となることを願います。

小豆島町 大江正彦町長より



小豆島の新たな観光の道標となる「観光ビジョン」。人口減少など抱える課題は山積していますが、裾野の広い観光産業を中心に、「島は1つ」を合言葉に、「持続可能な島づくり」を目指します。

小豆島の観光における **ミッション** - 使命 -

観光事業の推進により **持続可能な島づくり** の中心的役割を務める

小豆島観光協会が正式DMOとなり、日本版持続可能な観光ガイドライン (JSTS-D) に基づき取り組む

小豆島の観光における **ビジョン** - 願望 -

観光により消費される島ではなく、観光により **持続できる島** を目指す

小豆島の観光における **バリュー** - 価値 -

- ✓ 離島を形成する **景観美** (青い海と緑の山々のバランス)
- ✓ 離島に息づく **生活文化** (伝統と革新 / 深化と新化)

基本戦略の中心に据えるべき差別化のポイント
離島の利点を活かす ⇔ 離島の不便を減らす



今後5か年で取り組む **基本戦略**

A **サステナブルな観光** を推進する。

B 国内市場拡大の観点から **関西圏** からの誘客促進を図る。

C 観光における需要と供給の観点から **冬期** の誘客促進を図る。

D インバウンド需要拡大の観点から **受入れ体制** の強化を図る。

E 映画・アニメの聖地的観点から **フィルムツーリズム** の強化を図る。

F 一次産業と伝統産業の観点から **フードツーリズム** の強化を図る。

G 島の地形・景観の観点から **スポーツツーリズム** の強化を図る。

H 小豆島ならではの **体験コンテンツ** の強化を図る。

I 二次交通対策の観点から **次世代モビリティ** の導入を図る。

J **島の遊休施設** 活用の観点から民間投資の促進を図る。



A **サステナブルな観光** を推進する。

1 GSTC ブロンズを取得し、国内外にサステナブル観光先進地として認知してもらう。

2 サステナブル観光モデル地域として、教育旅行のほか、視察ツアーやユニバーサルツーリズムの受入体制を整える。

3 サステナブル観光推進のため、宿泊税等による安定財源を確保する。

4 ふるさと納税で観光資源を使った返礼品メニューを用意する。



B 国内市場拡大の観点から **関西圏** からの誘客促進を図る。

1 大阪・関西万博、瀬戸内国際芸術祭2025に合わせ、関西圏を対象とした観光プロモーションを強化する。

2 関西圏からの誘客を促進するために連携協定を結んだ神戸市に加え、姫路市との連携も強化する。

3 関西圏からの陸路を使ったルート(淡路島経由など)を観光コースとして磨き上げPRを強化する。

C 観光における需要と供給の観点から **冬期** の誘客促進を図る。

1 島の地形・景観を活かした「灯り・光・花火」「光のドローンショー」などの冬期限定のイベントを実施する。

2 冬期を戦略的キャンプシーズンと設定してキャンプ需要を取り込む。

3 「冬のあったかグルメ」の魅力アップを図り、参加事業者を増やして冬の定番商品に磨き上げる。



D インバウンド需要拡大の観点から **受入れ体制** の強化を図る。

1 宿泊施設・飲食店・観光施設などに対しインバウンド教育(語学の強化・ツールの活用など)を実施し、合わせてインバウンド客に対しては入浴ルールなど啓もう活動を行う。

2 宿泊施設・飲食店・観光施設などに対しwi-fi、キャッシュレス、洋式トイレ等の普及を促進する。

3 インバウンド客に対応できる有料のプロガイドの育成を行う。

E 映画・アニメの聖地的観点から **フィルムツーリズム** の強化を図る。

1 フィルムコミッション体制の強化を図る。

2 映画・アニメの舞台として聖地巡礼を促進し、聖地にふさわしいイベントやコラボ商品の開発・販売などの事業化を図る。

3 ゲーム、キャラクターなどあらゆるジャンルのオタク文化やマニアな層を獲得する。(イベント誘致や開催)

